

2018 年秋学期の全時間訓練のための
メッセージアウトライン

主題：
中心的なビジョン

メッセージ 6

ダビデの子孫が神の御子になることとしての、またわたしたちの命・救い主としての
奥義的なキリスト

聖書：ローマ 1:3-4. 5:10. 8:28-29

I. 「ダビデの子孫が神の御子となる」ことは、キリストが復活によって神の長子と定められる過程と、わたしたちが復活によって神の多くの子たちと定められる過程について語っています——ローマ1:3-4. 8:28-29：

A. 神のひとり子であるキリストは（ヨハネ1:18）、神性において、肉体と成ることによって、神性と何の関係もない肉（人の性質）を着ました。人性においては、彼は神の御子ではありません：

1. イエスは人性において、ダビデの子孫、すなわち、神の旧創造（古い人——ローマ6:6）に属する人の子孫でした——コロサイ1:15後半。
2. キリストが人性においてダビデの子孫として十字架上で死んだ時、彼は古い人を旧創造と共に十字架につけ、悪魔を滅ぼし、肉において罪を罪定めし、この世を裁きました——ローマ6:6. ヘブル2:14. ローマ8:3. II コリント5:21. ヨハネ3:14. 12:31。

B. 復活において、彼の人性は神化され、息子化されました。これは、彼が神性においてだけでなく、人性においても神の御子になったことを意味します——ローマ1:3-4：

1. 復活において、彼は神の御子と定められ、神の長子とされました。彼は神性と人性の両方を持っています——8:29。
2. 十字架は、彼が定められ、栄光を受け、復活されるための最高の方法でした：
 - a. 種が土に埋められて死ぬなら、ついには芽を出し、成長し、開花します。なぜなら種の命の働きが、その死と同時に活動するからです——ヨハネ12:23-24。
 - b. キリストの神性、すなわち聖別の霊は、彼の死において働き始めました。そして復活において、彼は神の御子として「開花」しました。
 - c. 彼の肉によれば、彼は十字架につけられました。しかし、彼の霊によれば、彼は強くされ、とても活動的にされ、神性をキリストの人性の中に入れて、それを神聖にしました。これが、定めるということが意味することです。また、これが息子化するという事です——I ペテロ3:18。

C. キリストの人性は、キリストの神性である聖別の霊によって、神性へと定められ、

- しるしづけられ、引き上げられました。これは、キリストが人性において再び生まれて、神の長子となったことです——使徒13:33：
1. キリストは、復活において再生された最初の者でした——ローマ8:29：
 - a. 彼の人性は、彼の母の胎の中で生まれました。彼の人性は、人であって、神の御子とは見られず、人の子と見られました。
 - b. キリストの復活は、彼の人性を引き上げて、彼の神性をこの人性の中に入れました。ですから、この復活によって、彼の人性は再び生まれて、神の御子の一部になりました。
 2. 原型は、神の長子です。複製は、神の多くの子たち、すなわち原型の肢体たちであり、それは彼のからだとなり、新エルサレムにおいて究極的に完成します——I ペテロ1:3。
- D. キリストはすでに神の御子と定められていますが、わたしたちは依然として定められる過程にあります。すなわち、息子化され、神化される過程にあります——ローマ8:28-29。ヘブル2:10-11。
- E. ローマ書の福音の目標は、神が肉体において罪人たちを造り変え、霊において定められた神の子たちとならせて、キリストのからだを建造することです。
- F. 神の御子の命は、わたしたちの霊の中に植え付けられています——ローマ8:10：
1. 今やわたしたちは、地にまかれた種のように、死と復活の過程を経過しなければなりません——ヨハネ12:24-26。
 2. これは外なる人を朽ちさせます。しかし、それによって内なる命は成長し、発展し、究極的には開花することができるようになります。これが復活です——I コリント15:31, 36。II コリント4:10-12, 16。
 3. わたしたちは、命における造り変えのために命において成長すればするほど、ますます神の子たちと定められます：
 - a. わたしたちは成長するために、主に向けられた心と、主に対して純粹である心を必要とします——3:16, 18。マタイ5:8。II テモテ2:22。
 - b. わたしたちは成長するために、言葉の純粹な乳と固い食物を食べる必要があります——I ペテロ2:2。ヘブル5:12-14。
 - c. わたしたちは成長するために、賜物のある肢体が水を注ぐことを必要とします——I コリント3:6。ヨハネ7:37-39。箴11:25。
 - d. わたしたちの環境の中のすべての事柄を通して、またわたしたちの失敗によって、わたしたちの醜い自己は引き裂かれます。そうすれば、主はわたしたちの内側で働くさらに大きな機会を得ます——ローマ8:28-29。
 - e. ある日、この過程は完了します。そして、永遠にわたってわたしたちは、霊、魂、体において、キリスト、神の長子と同じになります——I ヨハネ3:2。ローマ8:19, 23（詩歌764番2節）。
- G. 復活の中で、キリストは彼の人性において神の御子と定められました。このような復活によって、わたしたちもまた、定められた神の子たちとなる過程の中にあります——ローマ8:11。6:5：
1. わたしたちが定められ、息子化され、神化される過程は、復活の過程であり、そ

れにはこれらの主要な面があります。すなわち聖別、更新、造り変え、同形化、栄光化です——22節。 12:2。 8:29-30。

2. 定められる過程のかぎは、復活です。それは、わたしたちの霊の中の復興する霊、定める霊、命の力である、内住のキリストです——ヨハネ11:25。 ローマ8:10-11。 使徒2:24。 I コリント15:26。 5:4。
 3. わたしたちが緊急に必要とするのは、どのようにしてその霊にしたがって歩くかを学び、定める霊を享受し、経験することです——ローマ8:4, 14。
- H. クリスマン生活全体の要点は、キリストがすべてを含む、命を与える、定める霊としてわたしたちの霊の中に生きていることであり、彼はその霊としてご自身をわたしたちの霊とミングリングして、この二つの霊を一にします—— I コリント15:4 5後半。 ローマ8:16。 I コリント6:17 :
1. わたしたちのミングリングされた霊には問題がないので、問題を解く必要がありません。わたしたちが必要とするものはすべてわたしたちの霊の中にあります——ピリピ1:19。 4:23。
 2. わたしたちは自分の弱さ、欠点、失敗、自己のことをすべて忘れ、わたしたちの思いを霊に付ける、すなわち、いつもわたしたちの霊に注意を払い、わたしたちの霊を用い、わたしたちの霊を顧みることによって、霊の中にとどまる必要があります——ローマ8:6。 参照、ユダ19-21節。
 3. わたしたちの周りの環境や状況は惨めなものであっても、わたしたち自身は霊の中で喜んでおり、神の王国の実際の中で生きなければなりません——ローマ14:1 7。 参照、ダニエル3:19-20, 25。 使徒16:23-25。 エペソ4:1。
 4. わたしたちは霊の中で燃えており、喜んでおり、神を享受しており、命の中で王として支配しており、命の新しさの中を歩いており、霊の新しさの中で仕えています——ローマ5:10-11, 17。 6:4。 7:6。
 5. わたしたちの霊に戻り、霊の中にとどまり、霊にしたがって歩き生きるとき、わたしたちは神の真の子たちであり、キリストの生ける肢体たちであって、互いに有機的にかかわりを持ち、生けるからだとして共に建て上げられて、召会生活において実際であるキリストを表現し、新エルサレムを完成します。

II. キリストはわたしたちの命・救い主であり、彼は命の霊であり、神の御子の霊であるご自身によって、彼の命の中でわたしたちを救う方です——5:10。 8:2。 I コリント15:45後半 :

- A. ローマ書が啓示しているのは、命の霊がわたしたちの内側で四重の働きを行なっているということです :
1. 命の霊は、解放する霊です :
 - a. わたしたちが命の霊の中で歩くとき、わたしたちは罪と死の法則から解放されます——8:2。
 - b. わたしたちを解放するのは知識ではなく、命の霊ご自身です。ですから、わたしたちは自らを解放する霊の中へと祈り込んで、わたしたちの霊とミングリングされているこの霊の中で生き、働き、存在する必要があります——4節。
 2. 命の霊は、救い出す霊です :

- a. わたしたちは縛られているので解放を必要としますが、わたしたちはまた墮落しているので救い出される必要があります。
 - b. わたしたちが命の霊の中にいるなら、わたしたちは自分の態度、動機、思考、愛し憎むこと、決定すること、短気、性情、他の多くの項目から救い出される必要があることを深く確信するでしょう——5:10。
3. 命の霊は、聖別の霊です：
- a. 聖別されることは、造り変えを通して、神であるすべてをもって浸透されることです——6:19, 22. 12:2。
 - b. 聖別は、「思いが新しくされることによって造り変えられなさい」と言う第12章2節における造り変えに等しいです。
4. 命の霊は、栄光化の霊です：
- a. 最終的に、命の霊はわたしたちを栄光化して、わたしたちの三部分から成る全存在において三一の神の団体的な全き表現とならせます——8:30。
 - b. 彼は彼の神聖な聖別によって多くの子たちを栄光の中へと導き入れて、わたしたちを彼の栄光の召会とならせます——ヘブル2:10-11. エペソ5:26-27。
- B. ローマ書が啓示しているのは、わたしたちを息子化する神の御子の霊が、わたしたちの内側で五重の働きを実行しているということです——ガラテヤ4:6：
- 1. 神の御子の霊は、証しする霊であり、わたしたちの霊と共に、わたしたちが神の子供たちであることを証ししています——ローマ8:15-16。
 - 2. 神の御子の霊は、導く霊です。もしわたしたちがこの導きの下にあるなら、わたしたちは自分たちが神の子たちであることを証明する方法で歩き、振る舞うでしょう——14節。
 - 3. 神の御子の霊は、とりなす霊です。わたしたちの内側には常にわたしたちと他の人たちのために祈っている方がいます——26-27節。
 - 4. 神の御子の霊は、同形化する霊であって、神の長子であるキリストのかたちに同形化する働きを行なっています——29節。
 - 5. 神の御子の霊は、建造する霊です：
 - a. 神のすべての子たちはキリストの肢体であり、これらすべての肢体はその霊によって共に建造され、組み合わされます——12:4-5. エペソ4:3-4。
 - b. 正常な召会生活のための、からだにおいて相互に肢体であることと有機的なかわりは、命の霊の、また神の御子の霊の究極の働きであり、わたしたちを息子化します。